

Ⅶ 社会教育（生涯学習）

1 社会教育施策の重点

現代社会の情報化、国際化、少子高齢化、価値観等の急速な変化に対応するためには、自ら課題を見つけ考える力、柔軟な思考力、身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する力及び他者との関係を築く力に加え、豊かな人間性等を含む総合的な「知」が必要とされる。また、自立した個人やコミュニティ（地域社会）の形成及び持続可能な社会の構築への要請等を踏まえ、生涯学習振興の必要性が高まっている。

このため、令和3年3月に改定した「三島市生涯学習推進プラン（後期計画）」に基づいた総合的な生涯学習の推進を図り、多様な学習機会や情報の提供（各種講座・イベントの充実、人材の活用、家庭教育の支援）、学習環境の整備・充実

（生涯学習センターや地域に根ざした公民館の活用）及び社会教育活動の活性化（公民館利用団体や社会教育関係団体の育成・支援）に取り組んでいく。

また、将来の三島を担っていく者として、豊かな感性と幅広い視野を持った青少年の健全育成を推進していくため、青少年活動の推進（青少年活動への支援、青少年リーダーの養成及び青少年指導者の育成）、青少年を育む地域づくり（健やかな成長のための環境づくりの推進、相談体制の充実、青少年育成環境の整備及び学校・家庭・地域の連携協力推進）及び青少年活動の場の整備（箱根の里の有効活用、活動の機会と場の提供等）に取り組んでいく。

2 委員会・団体の構成

(1) 各委員会等の構成

令和3年4月1日現在

名称	構成人員	任期	主たる事業
社会教育委員	15	2	社会教育事業の審議
青少年問題協議会	31	2	青少年の指導、育成、保護に関する総合施策の樹立、調査審議
青少年相談室運営懇話会	10	2	青少年相談室の運営に関する協議
補導指導員	-	2	青少年補導、青少年健全育成※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から補導活動を中止したため、任命なし。
公民館運営審議会	11	2	公民館事業の審議・検討
箱根の里運営協議会	15	2	箱根の里活動全般審議
三島市民生涯学習センター運営委員会	10	2	三島市民生涯学習センターの円滑な運営及び生涯学習の推進に関する調査審議

(2) 三島市社会教育委員 任期 令和元年12月1日～令和3年11月30日(令和3年4月1日現在)

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
委員長	高橋 徹司	家庭教育	委員	靱山 好実	社会教育団体
副委員長	永倉 えり子	学識経験者	委員	大澤 秀子	社会教育団体
委員	足立 博道	学識経験者	委員	大房 正征	学識経験者
委員	後藤 素行	家庭教育	委員	石井 芽久美	学識経験者
委員	本持 信慈	学識経験者	委員	大畑 孝雄	学校教育関係者
委員	渡邊 靖乃	家庭教育	委員	飯塚 道代	社会教育団体
委員	前田 磨	学識経験者	委員	吉田 美和子	社会教育団体
委員	小藪 余志美	学識経験者			

3 令和2年度の重点事業

(1) 生涯学習・社会教育関係

- ア 生涯学習情報の充実
- イ 各種講座・イベントの充実
- ウ 社会教育関係団体などの育成・支援
- エ 地域連携活動の支援
- オ 市民生涯学習センターなど社会教育施設の機能の充実

(2) 青少年健全育成関係

- ア 「ジュニアリーダー研修」「高校生リーダー研修」等の実施を通じた青少年リーダーの育成
- イ 青少年健全育成会との連携による市民総ぐるみでの青少年の育成と非行化防止
- ウ 青少年相談室の充実と相談・補導事業の強化
- エ 児童センターでの講座やイベントなど、児童を対象とした事業の開催
- オ 学校、地域、家庭の連携体制の構築、協働の推進

(3) 女性団体支援関係

- ア 女性相互の情報交換、交流と社会参加の促進支援
- イ 女性団体の自立促進支援

4 生涯学習事業

(1) 生涯学習情報の提供

- ア インターネットによる学習情報、行事予定、行政情報、施設案内等の情報の提供
- イ 生涯学習情報宅配便（リリエムクラブ）
- ウ 生涯学習指導者登録・紹介（ハロー教授バンク）
- エ 生涯学習推進員活用事業

(2) 夏休み特別企画の開催

コロナ禍で様々なイベントが自粛、夏休みも短縮される中、少しでも多くの方に元氣と勇氣を持ってもらう事を目的に、「木村圭吾氏 ミニギャラリー」を開催。

ア 開催期間 8月9日（日）～
8月15日（土）

イ 会場 市民生涯学習センター
ウ 来場者 567人

(3) 夏休み子どもイベントの開催

夏休み中の子どもたちに体験的な学習の機会を提供し、健全な心身の育成に努めることを目的に実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度は11月に開催。

ア 開催日 11月1日（日）
イ 会場 楽寿園など
ウ 受講者 小学生 17人

5 生涯学習推進事業

(1) 生涯学習功労者表彰

生涯学習の推進に貢献された方を生涯学習功労者として表彰した。

ア 表彰日 令和3年2月6日（土）
イ 会場 市民生涯学習センター 講義室
ウ 受彰者 個人4人

(2) 生涯学習まつりの開催

市民生涯学習センターを活動の場とする生涯学習課関連団体の学習成果発表と団体相互の交流を図ることを目的に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。

6 家庭教育事業

(1) (前期) 幼児期からの家庭教育セミナー

幼児期における家庭教育の理解やしつけの基礎を学ぶことを目的に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。

(2) (後期) 幼児期からの家庭教育セミナー

幼児期の子をもつ親の子育て、子育て、親育ちをサポートすることを目的に実施した。

ア 開設期間 9月4日(金)～9月24日(木)
全3回(5時間)

イ 会場 市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内在住で幼児・児童をもつ保護者12人

(3) 幼稚園家庭教育講座

開催幼稚園	内容カテゴリー	時間数	参加者数
坂幼稚園	生活に生かせる講座	1	8
大場幼稚園	保護者の仲間作り講座	4	28
しらゆり幼稚園	生活に生かせる講座	1.5	39

(4) 小中学校家庭教育学級

開設学校	内容カテゴリー	講座回数	参加者数
西小学校	家庭教育講座	1	22
徳倉小学校	防災講座	2	9
中郷小学校	生活に生かせる講座	1	17
沢地小学校	保護者の仲間作り講座等	2.5	8
山田小学校	健康づくり講座等	3.5	62
山田中学校	保護者の仲間作り講座等	3	13

(5) スマイル子育て講座

「親子で作るX'mas ツリー教室」

親子が共有の体験を持つとともに、円滑な親子関係を築くためのきっかけづくりを目的に本講座を開設した。

ア 開催日 12月13日(日)

イ 会場 市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内に住む小学1年生以上の子どもとその保護者、大人9人、子ども10人

(6) 家庭教育学級全体講座

コロナ禍においての保護者の心構えや、子どもに向き合う姿勢を再確認してもらうことを目的に実施した。

ア 開催日 11月13日(金)

イ 会場 市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内在住で小中学校の子どもを持つ保護者保護者45人

7 成人教育事業

みしま教養セミナー

ア 開催期間

日本大学関連コース 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

順天堂大学関連コース 10月2日(金)～10月16日(金)

開設テーマ	学習方法	回数	参加人数(人)
日本大学関連コース			中止
順天堂大学関連コース	講義	3	31
計		3	31

イ 会場 市民生涯学習センター

ウ 参加者 30歳以上の市内在住・在勤者
31人

8 女性団体支援事業

市内で活動・学習している女性相互の交流を通して女性の意識向上を図るため、いきいき友の会などの女性団体の自主的な活動を支援するとともに、女性懇話会を開催し、団体間の交流や情報交換の機会を提供している。

また、女性団体支援として、婦人・女性学級を開設し、各種学習会を通して資質向上を図った。

婦人・女性学級（2学級）

名 称	開設場所・学習テーマ	時間数	学級生数
南婦人学級	開設場所 南地区コミュニティ 防災センター	8	80
	学習 テーマ 「日々明るく楽しく誠 実に」		

※中央女性学級は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講座開講は中止

9 青少年対策事業

青少年が「誇り」と「責任」と「自覚」をもって社会に役立つたくましい人間に成長できるよう、学校、関係団体、地域住民等の協力を得ながら青少年の健全育成を推進した。

(1) 青少年問題協議会

市議会、関係行政機関、学識経験者等で構成され、青少年健全育成に関する総合的施策について審議並びに連絡調整を図る青少年問題協議会を年2回開催している。

青少年問題協議会会長及び委員 任期 令和4年3月31日まで

【会長】 豊岡 武士（三島市長）

（令和3年6月30日現在）

【委員】

	氏 名	役 職		氏 名	役 職
1	川原 章 寛	三島市議会議長	16	鈴木 伊津美	三島市交通安全母の会連合会 会長
2	内田 一 弘	三島警察署署長	17	篠原 誠	三島市子ども会連合会会長
3	安藤 宏 通	三島市教育委員	18	鈴木 穂 子	三島市中央女性学級副学級長
4	高橋 徹 司	三島市社会教育委員長	19	加藤 知 子	放課後児童クラブ保護者会代表
5	土屋 康 徳	三島市校長会会長	20	山崎 美砂子	いきいき友の会会長
6	鈴木 敏 彦	県立三島北高等学校校長	21	亀井 由科里	三島市地域活動連絡協議会 会長
7	持山 育 央	県立三島南高等学校校長	22	上 條 猛	ボーイスカウト三島地区協議 会地区委員長
8	廣 住 論	県立三島長陵高等学校校長	23	朝木 未 夏	ガールスカウト三島地区連絡 協議会会長
9	渡邊 武一郎	日本大学三島高等学校・中学校 校長・事務取扱	24	荒井 里江子	三島市青年団体連絡協議会 会長
10	石井 芽久美	三島市自治会連合会副会長	25	服部 光 弥	三島市青少年健全育成会監事
11	岩 邊 守	三島地区保護司会会長	26	足立 博 道	三島市スポーツ少年団本部長
12	宮川 紀代美	三島市民生委員児童委員 協議会会長	27	西島 玉 枝	三島市教育長
13	加藤 智 彦	三島市民生委員児童委員 協議会理事	28	池田 健 二	三島市健康推進部長
14	福田 良 嗣	三島市PTA連絡協議会会長	29	臼 井 貢	三島市社会福祉部長
15	井澤 さやか	三島市PTA連絡協議会 家庭教育委員長	30	鈴木 佳 憲	三島市教育推進部長

(2) 青少年相談室

青少年相談室では、日常業務として、相談員・指導員常時7人による児童・生徒の電話及び面接相談、問題をもつ青少年の継続指導、その他青少年の健全育成に必要な事業を行っている。令和2年度から、中郷公民館・北上公民館に分室を設置し、要望があれば相談を行っている。

また、補導活動として補導指導員の協力のもと市内繁華街を中心に街頭補導を実施している。

相談室の運営に関しては、教育・民生・警察等から選出された10人の委員により構成される運営懇話会において協議し、円滑で効果的な運営を図っている。

ア 三島市青少年相談室運営懇話会委員

任期 令和4年3月31日まで
(令和3年4月1日現在)

	氏名	役職
1	西島 玉枝	三島市教育長
2	杉橋 文代	三島市民生委員児童委員協議会児童福祉部会長
3	西原 隆司	三島地区保護司会代表
4	永倉えり子	三島市社会教育委員副委員長
5	井澤さやか	三島市PTA連絡協議会(家庭教育委員長)
6	近田 和弘	三島警察署生活安全課長
7	露木 知浩	三島市校長会代表
8	篠原 誠	三島市子ども会連合会会長
9	山本良一	三島警察署少年警察ボランティア連絡会会長
10	鈴木 佳憲	三島市教育推進部長

イ 令和2年度 電話相談受付状況

79 ケース 延べ1,268回

ウ 令和2年度 面接相談受付状況

115 ケース 延べ2,034回

エ 令和2年度街頭補導活動累計

補導の種類別活動状況

	常時補導	市街地補導	地区補導	計	前年度
実施回数	11	2	0	13	136
参加者数	57	25	0	82	755
注意指導数	9	0	0	0	55
(女子数)	0	0	0	0	18

オ 有害図書追放運動

青少年にとって有害な雑誌等の図書が、特に自動販売機から自由に入手できる環境は青少年の健全育成上好ましくないため、三島市においては昭和57年の青少年健全育成会発足以来、まず第一に環境浄化が取り上げられ、問題行動の原点となりうる自動販売機の撤去運動が活発に行われてきた。その結果、平成20年12月末に7台あった自動販売機設置台数は0台となり、現在に至っている。

(3) 三島市青少年健全育成会

主な活動

ア 青少年健全育成セミナー

- a 日時 11月11日(金)
午後3時から5時15分まで
- b 会場 市民生涯学習センター
講義室
- c 出席者 小中高教育関係者、小中高PTA、自治会関係者、健全育成団体等 69人
- d 内容

健全育成成功表彰(12個人 2団体)

講演会

演題：「子どもがSOSを出せるためには」

講師：飯塚 恵美 氏

(順天堂大学 保健看護学部 助教)

イ 静岡県青少年育成会議総会(書面議決)

a 日時 6月2日(火)

ウ 子供・若者育成支援強調月間静岡県大会 in 小山町

a 日時 11月23日(月)

午前 11 時 30 分～午後 4 時

b 会 場 小山町総合文化会館
金太郎ホール

エ 啓発活動

- ・声掛け運動の実践
7月10日(金)、9月18日(金)、
12月15日(金)
- ・未成年者喫煙防止啓発キャンペーン
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月、11月 中止)
- ・未成年者飲酒防止街頭キャンペーン
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月 中止)
- ・のぼり旗の掲出等による「青少年の非
行・被害防止強調月間(7月)、「子供・
若者育成支援強調月間」(11月)の啓発
- ・全市一斉あいさつ運動
7月10日(金) 9月18日(金)
12月15日(金)

10 青少年教育事業

移り変わりの激しい現代社会の中であって、青少年相互に研鑽と交流を深めるとともに青少年指導者の養成を図り、明るく住みよい郷土づくりの活動が積極的にできるよう努めた。

(1) 三島市少年の船

三島市内の中学生を対象に、航海体験や洋上研修、研修地での体験学習や交流を通し、たくましさと思いやりのある豊かな情操を養い、心身ともに健全な中学生の育成を図ることを目的に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。

(2) 三島市少年少女発明クラブ

児童に科学技術に関する興味、関心を追及できる場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して発明くふうの楽しさと創作する喜びを体得させることにより、創

造性豊かな人間形成を図ることを目的に実施した。

ア 開催期間

7月～令和3年3月(全15回)

イ 会 場

市民生涯学習センターほか

ウ クラブ員

市内在住の小学4年生～6年生 41人

エ 指導担当

三島市少年少女発明クラブ実行委員会

(3) みしまっ子体験塾

三島の文化、環境、食などの資源を生かしたさまざまな体験活動を通して、郷土に親しみ、健やかな心身を育むとともに、学校や学年の異なる集団活動の中で、仲間づくりや継続して諸活動へ参加する意欲を高めさせることを目的に実施した。

ア 開催期間

9月～令和3年2月(全4回)

イ 会 場

市民生涯学習センター、
山田川自然の里 ほか

ウ 参加者

市内在住の小学4年生～6年生 20人

(4) 学校週5日制対応事業(ジュニアプラザ)

中学生・高校生の校外における活動として休日にさまざまな体験ができる機会を提供することにより、多分野に興味関心を持つきっかけの場とする。また、体験を通して教養を身につけ、同年代の参加者同士の交流を深め、少年育成を図ることを目的として実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。

(5) 中学生リーダー研修(ジュニアリーダー研修)

中学生を対象に、野外学習等4回の研修を

実施し、仲間との連帯意識を高め、自主性と実践性を培い、社会活動へ参加できるリーダーの育成を図った。

ア 開催期間

9月～令和3年3月（全4回）

※全5回予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数減少

イ 会場

市民生涯学習センター、朝霧野外活動センター ほか

ウ 参加者

市内在住又は在学の中学生 25人
（男14人、女11人）

エ 指導担当

ジュニアリーダー研修実行委員会

(6) 高校生リーダー研修（アドバンスド ジュニアリーダー研修）

中学生リーダー研修を修了した高校生を対象に、ジュニアリーダー研修でのリーダー活動、ボランティア研修、自然体験活動等を実施し、自己の確立や資質の向上を高め、社会参加活動に自主的・意欲的に取り組むリーダーの育成を図った。

令和2年度参加14人（男9人、女5人）

(7) 令和2年度「三島市中学生の主張」大会

（三島市青少年健全育成会及び三島市校長会との共催事業）

ア 趣 旨

中学生が自分の考えを広く訴えることにより社会の一員としての自覚を高める契機とするとともに、市民の青少年健全育成への理解と関心を深めてもらう。

イ 人 数

優秀作品者 16人（市内中学校8校から各2人の代表・応募数1,093人）

ウ 内 容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会の開催を中止し、原稿の募集のみ行った。また、優秀作品すべてを「わたしの

主張 2020」静岡県大会（静岡県庁で開催）の出場作品候補として推薦した。

(8) 成人式

市内の新成人者を招き、成人への仲間入りを祝して記念式典を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典の開催を中止。

なお、式典開催予定日だった1月10日には市内2ヶ所で新成人者への記念品及び成人式実行委員会企画「恩師からのメッセージ動画」QRコード付リーフレット等を配布し、記念品を提示した新成人者については楽寿園の入園を無料、園内をフォトスポットとして開放した。

ア 代替事業実施日時（記念品等の配布）

令和3年1月10日（日）

イ 会 場

三島市民文化会館、楽寿園

ウ 対象者

平成12年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 1,076人（男505人、女571人）（令和2年11月30日現在）

エ 記念品配布数

546人

（楽寿園276人、市民文化会館270人）

楽寿園入園者数 614人

※再入園も含む。

(9) 青少年団体の育成

青少年団体（ボーイスカウト三島地区、ガールスカウト三島地区連絡協議会、三島市青年団体連絡協議会）へ、活動の活性化を図るための支援を行った。

(10) 二市青年教育交流協議会

三島市、沼津市の2市の青年教育の振興を図り、青年リーダーの養成等の充実を図ることを目的に情報交換を行った。

(11) 青年団体（和倶楽部）

陶芸を中心に、着付けや茶道など「和」の講

座を開講し活動した。令和2年度会員 4人

(12) 青年教養講座の開設（ヤングプラザ）

各種講座の学習を通して教養を身につけるとともに、心身のバランスがとれた青年の育成を図った。

ア 開催期間

11月～12月（1講座）

イ 会場

市民生涯学習センターほか

ウ 内容

陶器作り（6回）

エ 受講者

市内に在住又は在勤の18歳から35歳
くらいまでの人 計43人

(13) 三島若者元気塾の開設

平成30年度まで、将来の三島を担う元気なリーダー・人材を育成するため、青年を対象に講座を開講する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止した。

11 児童センター事業

児童に健全な遊び場・安全な居場所を提供する児童館として市民生涯学習センター内に児童センターを設置し、遊戯室・軽運動室等で、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に各種事業を実施した。

(1) キディプラザ（幼児・児童対象の継続講座）

ア 開催講座 1講座 全5回

イ 会場 市民生涯学習センター

ウ 参加者 延べ63組126人

(2) 児童センター例月事業

ア 年間開催数 3回

イ 会場 市民生涯学習センター

ウ 参加者 105人

(3) すくすく広場（市内在住の満1歳以上の未就園児とその保護者を対象とした遊び会） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。

12 学校・家庭・地域連携協力推進事業

(1) 地域学校協働本部事業

学校を核とした地域づくりを目指すため、公立小中学校に地域学校協働本部を設置し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うための橋渡しをする組織である「地域学校協働本部実行委員会」を中心に、地域住民が協働活動サポーターとして活動に取り組む体制づくりを推進している。

三島市では、平成21年度に錦田中学校で事業が開始されて以降、平成26年度に5校、平成27年度に12校で事業が開始された。平成28年度に残る3校でも事業が開始され、市内の全公立小中学校（小学校14校、中学校7校）での地域学校協働本部設置及び学校支援活動の実施が実現した。

活動内容

授業の補助（学習作業の支援）、放課後の学習支援、授業の講師（職業講話）、学校内の整備、環境整備（樹木の剪定、花壇の整備等）、学校行事への協力活動、登下校の見守り（スクールガード）、本の読み聞かせなど

※各校の状況に応じた活動をそれぞれ実施

この地域学校協働本部事業の枠組みの中で、大学生や地域住民等の人材を学習支援員として活用した放課後学習支援の取組として「しずおか寺子屋（みしま寺子屋）」を実施している。

[令和2年度の実施状況]

・対象校・学年・教科、実施回数

西小学校（4～6年生・国語、算数）、28回

南小学校（4～6年生・算数）、10回

徳倉小学校（3年生・算数）、12回

北上小学校（4～6年生・算数）、8回

南中学校（3年生・国語、社会等）、15回

中郷中学校（1～3年生・国語、数学等）、16回

中郷西中学校（3年生・数学）、5回

・学習支援員 日本大学国際関係学部ほか
の大学生、地域住民ボランティア

(2) 家庭教育支援事業

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、平成 27 年度から家庭教育支援員（通称「家庭教育アドバイザー」）を配置し、小中学校等において、保護者への学習機会の提供（「講座」…県教委作成家庭教育ワークシートを活用したグループトーク）や相談対応等の家庭教育支援活動を実施している。

[令和 2 年度の実施状況]

- ・家庭教育アドバイザー 3 人（元小中学校教員）、家庭教育サポーター 5 人
 - ※チームとなって活動
- ・実施場所(機会)… 全公立小中学校、家庭教育学級、入学説明会、幼稚園等
- ・実施回数 … 講座 3 回（中止 12 回）
相談 4 回（中止 3 回）
相談・助言 0 回（中止 5 回）
親学講座 5 回